

協議第1号 平成31年度交通まちづくり創生事業について

狙い

●交通まちづくり「黒部モデル」とは

- 地方小都市における公共交通網の刷新
- 暮らしの向上と企業活力の発揮を支援する黒部らしい公共交通網
- 大学の知見を活かした産官学共同での展開
- 上質な住宅供給、高質な雇用機会の確保を支える、暮らしやすいまちづくりに貢献するモビリティ環境の提供

将来イメージ

●交通まちづくり「黒部モデル」の形成

- 既存の公共交通網に加えて新たな交通網を張り巡らし、高齢者、子ども、大都市からの移住者、定住者そして観光客など、誰もが自由に移動し活動できる都市空間の実現
- 小さな公共交通とのベストミックスによる黒部に合った事業展開
- 目指すは官民共同運行(SPC)

主な事業

- ・住民移動の正確でダイナミックな把握
- ・通勤バスの有効活用との適正サービス内容の検討
- ・小さな公共交通の導入可能性調査
- ・モビリティハブの設計・設置・運営
- ・公共交通のブランディング戦略の実施
- ・ゾーン運賃制度の検討、実証

ロードマップ（平成28年度～平成31年度）

	平成28年度	29年度	30年度	31年度
移動履歴調査・交通手段選択モデル構築	調査設計 → 準備 → 調査 → 解析	詳細分析・交通手段選択モデルの構築		
次世代型交通システムの実証実験	開発 → 準備 → 実験1 → 検証	H30実証実験に向けた市民ニーズ把握・条件整理・実施計画検討	準備・地元調整 → 実証実験 → 検証	次世代交通システムの導入に向けた検討（地域及びエリア、運行経費など）
公共交通の官民共同運行検討 ゾーン制運賃検討	計画の検討 → 南北循環線社会実験 → 本格運行開始	南北循環線利用者及び沿線住民アンケート調査実施	南北循環線の収支改善・最適化を検討（交通手段選択モデルを活用したシミュレーション）	南北循環線の最適化の検討（交通手段選択モデルを踏まえた日中帯の再編の検討）
モビリティハブの設計・設置	基本設計 → 実施設計 → 施工	モビリティハブ機能の充実（ちよいのり黒部）	モビリティハブの整備（バス停施設・ちよいのり黒部）	モビリティハブの整備（バス停施設・ちよいのり黒部）
利用促進事業	…………… モビリティマネジメント・ブランディング（体験乗車会の開催、ニュースレター作成、ホームページ・テレビ・ラジオ等を通じた啓発活動） ……………			